

第2回 公開シンポジウム
エネルギー持続性への挑戦
～サステイナブルなエネルギー需要とライフスタイルの変化～

[主催] 東京大学サステイナビリティ学連携研究機構 (IR3S)

[共催] 昭和シェル石油株式会社

[協力] 三菱地所株式会社

2008年9月29日[月] 13:00～17:50

[会場] 丸ビルホール(丸ビル7階)

〒100-6307 東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル7階



お申し込みはこちらから ▶ <http://www2.ir3s.u-tokyo.ac.jp/esf/symposium.html>

【お問い合わせ先】 フォーラム事務局 ((株)アイモ内)
TEL:03-5568-1914 (土、日、祝・祭日を除く10:00～17:00)
E-mail:info@imo-inc.co.jp

エネルギー持続性への挑戦

～サステナブルなエネルギー需要とライフスタイルの変化～

洞爺湖サミットで合意された「2050年までに世界全体の温室効果ガス排出量の少なくとも50%の削減を達成する目標」を受け、高い省エネルギー技術を持つ日本は、「持続可能なエネルギー供給体制」を提案し、実践する責任があります。

第2回目となる本シンポジウム「エネルギー持続性への挑戦」では、前回の持続可能な供給体制についての議論に続き、21世紀の持続可能で豊かな社会における「エネルギー需要」に焦点をあて、世界のエネルギー需要に多大な影響を及ぼす中国の動向も視野に入れながら、持続可能な社会構築に資する技術革新と社会経済システムや制度・政策について議論し、提言を試みます。

プログラム

■開会挨拶	13:00～13:05 13:05～13:10	武内 和彦(東京大学サステナビリティ学連携研究機構(IR3S)副機構長) 木村 恵司(三菱地所株式会社 代表取締役社長)
■基調講演	13:10～13:40	「低炭素社会 シナリオ2050」 佐和 隆光(立命館大学大学院 政策科学研究科 教授/京都大学 経済研究所 特任教授)
■講演	13:40～14:20 14:20～15:00 15:00～15:40	「持続可能なエネルギービジョンー日本のTriple 50と中国2030年から2050年へ至る道筋ー」 湯原 哲夫(東京大学IR3S 特任教授) 「※タイトル確認中」 須田 義大(東京大学 生産技術研究所 機械・生体系部門 教授) 「住宅/建築物の省エネルギー技術とその普及」 坂本 雄三(東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻 教授)
■パネルディスカッション	15:55～17:45	「21世紀のエネルギー需要:技術革新と社会経済・社会制度」 モデレーター:花木 啓祐(東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻 教授、IR3S兼任教授) パネリスト:湯原 哲夫、坂本 雄三、赤池 学(株式会社 ユニバーサルデザイン総合研究所所長)、 長島 俊夫(三菱地所株式会社 代表取締役専務執行役員)、宮崎 緑(昭和シェル石油株式会社 監査役)
■閉会挨拶	17:45～17:50	伊藤 智明(昭和シェル石油株式会社 執行役員)



武内 和彦
Takeuchi Kazuhiko

●現職
東京大学大学院 農学生命科学研究科 生態システム学専攻 教授/
IR3S副機構長/農学博士(東京大学)

●主な著書・論文
「地球持続性のすすめ」(岩波ジュニア新書、2007年)
「ランドスケープエコロジー」(朝倉書店、2006年)



木村 恵司
Kimura Keiji

●現職
三菱地所株式会社 代表取締役社長



佐和 隆光
Sawa Takamitsu

●現職
立命館大学大学院 政策科学研究科 教授/
京都大学 経済研究所 特任教授/経済学博士(東京大学)

●主な著書・論文
「この国の未来へ」(ちくま新書、2007年)
「日本の「構造改革」」(岩波新書、2006年)



湯原 哲夫
Yuhara Tetsuo

●現職
東京大学IR3S特任教授/工学博士(東京大学)

●主な著書・論文
「エネルギー自給率向上のための技術的展望」
経済同友会/富士通総研共同フォーラム「エネルギー自給率50%」
(イニシアティブ、2003年)、日本経済新聞(朝刊)セミナー「エネルギー新世紀」2003年2月17日から4月18日全43回連載



須田 義大
Suda Yoshihiro

●現職
東京大学 生産技術研究所 機械・生体系部門 教授/工学博士(東京大学)

●主な著書・論文
[Evaluation of driver's behavior with multibody-based driving simulator] (Multibody System Dynamics, DOI 10.1007/s11044-007-9041-y, Springer Netherlands, 2007年)、[タイヤ磨耗の摩耗特性と車両の運動制御] (第128回ゴム技術シンポジウム、ゴムのトライボロジーの先端技術, pp.9-16, 2007年)



坂本 雄三
Sakamoto Yuzo

●現職
東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻 教授/
工学博士(東京大学)

●主な著書・論文
「省エネ・温暖化対策の処方箋」(日経BP企画、2006年)
「新・住まいの学」(日経BP、2004年)



花木 啓祐
Hanaki Keisuke

●現職
東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻 教授/
IR3S兼任教授/工学博士(東京大学)

●主な著書・論文
[Applying choice experiments to valuing the different types of environmental issues in Japan] (Journal of Environment & Management Vol.84, 2007年)、[都市環境論] (岩波書店、2004年)



赤池 学
Akaike Manabu

●現職
株式会社 ユニバーサルデザイン総合研究所所長

●主な著書・論文
「ブラインドテストNO.1」(ダイヤモンド社・共著、2007年)
「昆虫力」(小学館、2006年)



長島 俊夫
Nagashima Toshio

●現職
三菱地所株式会社 代表取締役専務執行役員



宮崎 緑
Miyazaki Midori

●現職
昭和シェル石油株式会社 監査役/
千葉商科大学大学院 政策情報学研究科 教授

●主な著書・論文
「情報技術の活用により高齢者の社会参画を拡大する方策の実証的研究」(国府台経済研究Vol.16(2005年))、「コミュニティ道路整備による地域社会再生に基づく犯罪抑止」(日本計画行政学会(2005年))



伊藤 智明
Ito Tomoaki

●現職
昭和シェル石油株式会社 執行役員

※講演者、講演題目等は、現在の予定であり変更する場合があります。

[主催] 東京大学サステナビリティ学連携研究機構(IR3S)
[共催] 昭和シェル石油株式会社
[協力] 三菱地所株式会社